

### 推進せよ社會教育！ 本年度公民館豫算 521,000圓

二十六年度の本館豫算並びに事業計画に關しては、年度の都會・部長會議が開かれ各方面より検討が加へられて来たが、過日の選管審議會に於て活潑なる討論が深まらざつたが、向財政緊縮の線に沿つて最後の検討が加へられ、此處に三月町議會の議決を経たものである。

教育費並びに那由來の最低標準の目標である人口一人当り七圓には及ばないが、選管審議會委員・町議會議員更に町當局の社會教育に対する各別の理解と協力により五二万圓を認められたことば誠に欣ばしいことである。人の和と熱意と努力は豫算の不足を補つて充分であり有効適切なる豫算行使によつて、本年度公民館活動の進展は期して待つべきものがある。殊にナトー映画でおなじみの視聽教育が公民館の一部門として整頓された事は、今後の公民館活動に一偉力を加へたもので誠に適切な所である。

### 住民の希望を盛つて 公民館事業計画をさぐる

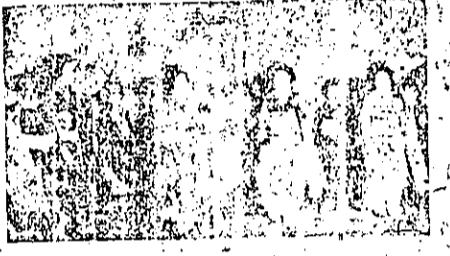
先に決定した本年度豫算により、本館活動は行はれつつあるが、主なる事業計画を一べつしてみる。(詳細はその郷土・館報その他でおしらせ致します)

- ▼本部事業
  - 定期講座 文化祭 敬老會 成人祭 図書館計画 其の他
  - 討論會 館報發行
  - 産業部
- ▼優良産業奨励 風合助成
  - 産業振興資料調査
  - 保健衛生部
  - 町民運動會 体育普及獎勵
  - 趣味獎勵部
  - 町民演藝大會 鮎釣大會 俳句大會 同非將棋大會 合同展覽會
  - 風合助成部
  - 巡迴映画會 視聽堂による教育

### 新議長 皆澤英太郎氏に決す

新議員による第一回町議會は五月十五日開會され、選挙によつて皆澤英太郎氏(外山氏十郎に上り、新議長は皆澤英太郎氏に決定す。

この日傍聴人は議員の座席で新議員の初町議會を注視して、向去五月二十一日の町議會は一部改正された。



### 行事多彩な 風まつり

中ノロそび白根の風まつり  
春の吹く風待つ

白根風あけ町の風が立つ  
雲に届いて風が立つ

優勝及技術賞は  
いづれへ

### 俳句

木村平地路  
芽木仰きその鳥の名を誰も知らず  
陽を避けて枯死とりまく芽木の

矢部安一路  
陽炎や近づけばきつと翔つ鳥  
ひと棟のはづれやゆきん出で柳

高木 鉄火  
ハシマの影も五月は句ひけり  
四月はや果てよわが声かかれつ

生野 不二  
あめんぼう見てあて橋の廻るな  
ガラス扉閉まれて夕陽の激しさ

木村平次郎  
花開閉町町議職のこと  
むらさきの漂ふ中に魚れむる

木村 白葉  
香春に露や農女の袂の襟  
木々の芽や芽むじばかりの嬰兒

### 風雑感

節句ともなれば白根の青年は  
男み立つ。鯉のぼりのやうに  
気が全身に漲る。土手での  
のいハッピ姿、ワッショッ  
のかげ声、何の屈託もなく  
に風の網を引く。あれだけ一  
した気概はチヨット他に求  
らば、風は白根の青嵐でも  
云つても過言ではない。  
最近風合戦も其の觀光價  
値を認められ、盛んに縣内外  
に宣傳されてゐるが、まこと  
は、何れも、さかたにか、  
の人物が助るだらう。或は  
泊りがけでわらう。田舎  
に對して町の人々には、  
なにしをせよばならぬ。青年  
これ等の客人に、  
又他所から来る人は風の冷間知  
識をもたず、珍らしいものだか  
ら、風や雨にも耐つてみたいだ  
らう。それを一概にどなりつけ  
ることはどうかと思ふ。もつと  
静かに納得のゆくやう説明しか  
やる方法はないものだらうか。  
さう云ふやうな態度で、白根の  
青年は立派だ。誰か言はう。  
もし、風は面白かつたが、青年  
の態度はどうも感心できない  
と噂されたらどうなるか。何  
も知らない人だつたら、それを  
ま、聞きかたして信するだら  
う。白根へ行くつもりだつたら  
が、そんなものだつたら、止せ  
とでも言はれたら風の客人がそ  
れだけ減る事になる。噂は七十  
五日と云ふ。しかし、翌年のシ  
ズンが来る頃その古傷の痛み  
が、又よみがへるだらう。終  
後は、強風もよく見物に来るや  
うだ。だから大きく考へれば、  
風は決して悪くアメリカまで  
風は決して悪くアメリカまで  
白根の風が日本の恥として喧  
されるかも知れない。  
青嵐と云ふ事は必ずしも  
この世の野卑なれ、と云ふの  
ではない。青嵐とは爆発する若  
人の情熱であり、  
燃えあがるものであらねばなら  
ない。自己了解がなければなら  
ない。しかし、この場合の  
野卑とは、群衆心理によつて刺  
戟された最も蔑むべき英雄主義  
に他ならない。  
ここで青年に静肅然たれ、と  
云つてゐるのではない。風をあ  
げる眞剣な気持、あの意気には  
大いに賛成する。それが群衆  
心理に溺れるのを戒めたいのだ  
客人にもつと気持よく、町  
客になしをしてこそ、白根へ來  
てよかつた。来年も又……と  
云ふ氣が起るのであるからうか  
これらの事を考へ合せると大  
風合戦の看板も大事だが、その  
看板を汚すも、汚きぬも青年の  
態度にかつてゐるとも云へる  
まこと大げさな話だがさう云ふ  
事を反省してみるのも決して無  
駄ではないと思ふ。  
節句も近い。出堤も賑ふだら  
う。存分に風をあけてもらひた  
らう。白根の風を天にまで届  
かせやう。  
北風の吹いてくれることを祈  
りつ、筆を擱く。

### 砂かぶり

又先日の國體神社大會にも田嶋し、  
常に研究と練習に勵んでゐる。兎に  
角種古無心先使は、郡大會に優勝を  
遂げるとの噂が多い。  
「若松」は小瀬ながら、  
な取口は、常に好相撲を演じ、  
如き等しい。常に好相撲を演じ、  
方相撲精練の印象を受ける。昨年郷  
大會には三位、大野町に於ける二市  
五郡大會には四位を占めてゐるだけ  
に、  
「若松」は、郡大會に於ける二市  
五郡大會には四位を占めてゐるだけ  
に、  
「若松」は、郡大會に於ける二市  
五郡大會には四位を占めてゐるだけ  
に、

### 祝郡青年体育大會白根町

| 力士名 | 木名 | 居住地  | 身長   | 体重  | 得意    |
|-----|----|------|------|-----|-------|
| 山渡邊 | 榮吉 | 五六之町 | 五尺五寸 | 十八貫 | 一本背負  |
| 山渡邊 | 昭八 | 登    | 五尺五寸 | 十九貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 勇二 | 登    | 五尺五寸 | 十九貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 辰二 | 町    | 五尺四寸 | 十七貫 | 下手投   |
| 山渡邊 | 弘  | 町    | 五尺六寸 | 十九貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 三郎 | 町    | 五尺八寸 | 十九貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 一郎 | 町    | 五尺八寸 | 十九貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 工  | 町    | 五尺八寸 | 十九貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 桂一 | 町    | 五尺七寸 | 廿一貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 俊松 | 登    | 五尺五寸 | 二十貫 | 上手投   |
| 山渡邊 | 助五 | 町    | 五尺五寸 | 二十貫 | 下手投   |
| 山渡邊 | 光男 | 町    | 五尺五寸 | 十八貫 | 内掛投   |
| 山渡邊 | 三作 | 町    | 五尺四寸 | 十八貫 | 右四つ掛投 |
| 山渡邊 | 吉五 | 町    | 五尺八寸 | 十八貫 | 右四つ掛投 |
| 山渡邊 | 一郎 | 町    | 五尺八寸 | 十八貫 | 右四つ掛投 |
| 山渡邊 | 能  | 町    | 五尺八寸 | 十八貫 | 右四つ掛投 |
| 山渡邊 | 五郎 | 町    | 五尺八寸 | 十八貫 | 右四つ掛投 |
| 山渡邊 | 留吉 | 町    | 五尺五寸 | 十九貫 | 寄出し   |
| 山渡邊 | 廣  | 町    | 五尺四寸 | 十七貫 | 寄出し   |